

2026年3月号

カトリックニ俣川教会
教会だより

No.391
(2026年3月1日 発行)



二十六聖人

《今月の聖人》 聖ヨセフ



巻頭言：聖ヨセフと四旬節

今年から『二十六聖人』の表紙をその月の聖人から選んで載せています。3月号では3月19日が聖ヨセフの日ですので、それにちなんで山手教会の聖ヨセフの写真をお借りしました。ただ、3月19日は私が幼稚園に行ってしまうためミサを休ませていただきます。なので、説教の代わりになるか分かりませんが、巻頭言に聖ヨセフのことを少し書いておきたいと思いますので、皆さんも祈りを深めていただければ幸いです。

毎年、聖ヨセフの日は四旬節の間に祝います。でも考えてみれば、四旬節の間に回心に励んでいる私たちにとって聖ヨセフは、目指している模範的なキリスト者の姿を示しているから、ちょうどよいのではないかと思います。前教皇フランシスコは2020年12月8日、聖ヨセフがカトリック教会の保護者として宣言されてから150年を迎えるに当たって、2020年12月8日から2021年12月8日を「ヨセフ年」とすることを宣言しました。同教皇は、使徒的書簡「パトリス・コルデ（父の心）」の中で、イエスの養父としての聖ヨセフの優しさやあふれる愛、神からの召命への従順さ、父親としてあらゆることを受容し、創造性をもって行動した勇気、質素な労働者としての姿、目立つことがなかった生き方に触れています。

教会は、聖母マリアの浄配であり、イエスの養父である聖ヨセフを特別に讃え、尊敬するために、3月を選んで捧げています。また、教会は、聖母マリアと共に聖ヨセフを完徳の鑑として私たちに示しています。完徳の鑑としてだけでなく、聖ヨセフはどんな人にも、どのような身分、境遇の人にも、生活の

すべてのことにおいて特別な指導者、保護者及び最も美しい模範です。司祭、修道者、青年、少女、年長者、夫婦、孤児、未亡人、労働者、などという身分をもっている私たちは、置かれている環境と与えられた仕事の中に聖ヨセフの姿を見つけ、見倣うこともできます。また、この世の中にたくさんいる日々忍耐を示し、希望を促す人々、目立たずに過ごしている人々、慎ましく隠れてすべての人の善を願い求め、身を尽くしている人々等、すべての人の中に、聖ヨセフの姿を見出し、出会うこともできます。

聖ヨセフは、イエス・キリストが人として生まれるにあたって、大切な役割を果たした人で、広く崇敬されている聖人です。そのわりに、私たちはこの聖人についてあまり多くのことを知りません。聖書も、この聖人の生涯についてほとんど教えてくれませんし、新約聖書でも聖ヨセフは一度も語りません。聖ヨセフは寡黙な男だったのでしょうか？よく「男は背中語る」とも言いますが、そのような男性だったのかもしれない。ただ現代だと何も話さない男性はつまらないとか何を考えているのか分からない人と思われてしまいますが、それでも寡黙な男性には魅力はあるのでしょうか。

多くを語らない男のかっこいい背中のイメージと共に、語らない聖ヨセフのもう一つの側面は信仰です。見通しの悪い、いや見通しのない天使のお告げに対して、黙々と生きていきます。神のみを頼りに、一つひとつ目の前にあることを生きていく聖ヨセフの姿が目に見え、浮かぶ中で、聖ヨセフは妻マリアを受け入れイエスを養育していく使命を果たしていきます。

聖書によると、聖ヨセフは正しい方で謙遜と従順の方でした。聖母マリアと一緒に前に彼女が妊娠していることがわかったら「密かに縁を切ろうと決心した」そうです。なぜそう決心したかは聖書では説明されていませんが、聖母マリアを疑ったからではないと思います。聖母マリアをよく知っていたから、決して淫らな行いをする方ではない、とはっきりわかっていた筈です。それなら、なぜ縁を切ろうと決心したのでしょうか。聖ヨセフは聖母マリアの妊娠の前に不思議な、神秘的な、神的なものを感じたから、畏れ多い気持ちになって身を引こうとしました。それは聖ヨセフの謙遜の心の表れです。でも天使が夢に現れて「恐れず妻マリアを迎え入れなさい」と命じたので、眠りから覚めたら言われた通りにしました。それは聖ヨセフの従順の心の表れでした。

また、聖ヨセフが、いつ死んだかは福音書には記されていません。しかし、イエスが30歳くらいで宣教活動に出た時にはおそらくこの世にはいなかったであろうと推測されます。聖ヨセフが死んで聖ヨセフを養う義務から解放されたイエスは宣教活動に出たとも推測されます。従って聖ヨセフはイエスの奇跡、不思議な業を一度も見せていません。マリアと比べると陰に隠れてしまっている感じがしますが、それも聖ヨセフの謙遜さを表しているように感じます。

この四旬節の間、私たちも聖ヨセフの謙遜な姿、寡黙とまではいかなくても、神に信頼を寄せて神を頼りに、静かな心で過ごしていきますように、聖ヨセフの取り次ぎを願いたいと思います。

マキシミリアノ・マリア・コルベ 内藤 聡

【司祭人事異動のお知らせ】

今年の聖霊降臨の祭日の後、内藤神父様が横須賀大津教会へ異動されることとなりました。残り短い時間とはなりますが、四旬節から聖週間、そして復活節を、内藤神父様を通してたくさんのお恵みをいただきながら歩みたいと思います。そして、新しい主任司祭としてパウロ 田邊敏彦神父様が三島・沼津・熱海教会から赴任してこられます。また、ペトロ ホアン・ドウック・ナン神父様が助任司祭として二俣川教会に戻ってこられます。司祭減少の中、お二人の神父様に司牧していただけるこの時を大切に、神様に感謝し、共同体として霊的な成長を目指して歩むことができますように。共に祈りいたしましょう。



《 今月の意向 》 ■ 3月

教皇の意向： 武装解除と平和

各国が有効な武装解除、特に核武装の解除に向けて動き、世界の指導者たちが暴力ではなく対話へと歩みを進めていきますように。

日本の教会の意向： 性虐待被害者

聖職者から性的な虐待を受けた方々のために祈ります。身勝手な思いと行動により、心と体に大きな傷を受けた方々が、神のいつくしみによって癒されますように。

(カトリック中央協議会ウェブサイトより)



2026年2月 (2月1日開催)

【検討事項】

1. マリア会担当教会委員が K. R. さんから F. N. さんに変わりました。
2. 3/15 信徒集会で報告する予定の教会委員会 2025 年活動報告・2026 年基本方針を検討しました。
3. 予算申請
次の二つの予算申請が承認されました。
 - ・前庭の桜のひこばえが育ってきたので枝の支柱を作り、また切り株を除去します。
 - ・生ごみがカラスに荒らされるので外置きのカラス除けゴミネットを購入します。

【報告事項】

1. 枇杷神父様の初ミサが 3/22(日)10 時ミサに決まりました。
2. 二俣川教会の将来を考える基礎資料として信徒の年齢、ミサに与る頻度、性別の調査を開始しました。4月まで続けますのでご協力お願いします。
3. 空調更新計画と空調特別献金
老朽化した空調設備を順次入替えています。昨年今年は一階司祭館、来年は聖堂、2028 年に信徒会館二、三階です(総額約 2 千万円)。建設積立金を大きく減らさないように本年から三年間、空調特別献金をお願いする予定です。信徒集会で詳しくご説明します。

【フリーディスカッション】

2050 年を考えるディスカッションの第四回目を行いました。第二回(外国籍信徒)、第三回(高齢信徒)のディスカッションを深掘りし、次のような意見が出ました。これをもとに 2050 年委員会が詳しい検討を進めます。

「教会学校の生徒は増えたが幼児クラスは減っている。あと何年かすると低学年はいなくなりそう。」「信徒数が減るのは避けられないが、先輩たちが生き生きと楽しそうにしている姿を見ていたら子供たちも自分たちの教会を作っていこうと思ってくれるはず。」「信仰教育が教会学校で止まっている。年を経て教会に帰ってくる人を再教育する機会が必要。」「役員が固定化して負荷も増える。」

【各会報告】

1. 典礼委員会

- ・4月2日聖木曜日に洗足式を行います。3月22日締切り。
- ・十字架の道行き：毎週金曜日 9:20 より行います。
- ・ベネディクション：3月5日(木)19:00 より行います。
- ・聖週間
3月29日(日)：受難の主日(枝の主日)
4月2日(木)：聖木曜日(主の晩餐) 19:00
ミサの中で洗足式
4月3日(金)：14:00 十字架の道行き
聖金曜日(主の受難) 19:00
4月4日(土)：聖土曜日(復活徹夜祭) 19:00
ミサの中で洗礼式
4月5日(日)：復活の主日

2. 教会学校

- ・2/1(日)9時から教会学校と初聖体クラス(6名)、2/8(日)9時から初聖体クラスと侍者会、同日11時からリーダー会、2/15(日)9時から教会学校と初聖体クラス、2/22(日)はお休み。

- ・2/23 戸塚教会で教区リーダー研修会。テーマ「子どもたちと信仰のよろこびを分かちあう～イエスさまのまなざしといっしょに」講師：神学院稲川神父様

3. キリスト教講座

- ・2/21(日)四旬節黙想会 エスコラピアス修道女会永本紀美子シスター講話
- ・2/22(日)合同入信志願式参加 (於：藤沢教会)
- ・4/11 入門講座開始。2/8 から申込受付開始。

4. 広報委員会

- ・『二十六聖人』に聖歌隊が聖体拝領の時に歌う聖歌の説明記事を載せていきます。
- ・聖フランシスコ年や、フランシスコ前教皇様を偲ぶ記事企画を検討中です。

5. 福祉委員会 (御幡委員代理説明)

- ・昨年、延期になった千葉ベース長講話は日程調整中です。
- ・アイメイトから 5/18 チャリティーコンサート (みなとみらいホール)の案内がありました。

6. 建物管理委員会

司祭館空調第二期工事の再見積りを依頼中。3月中に実施する予定です。

7. 共同墓地委員会

1月活動実績 納骨予約手続き中

8. ヨゼフ会

- ・1/18 定例会、1/25 コーヒー光実施。
- ・3/22 定例会予定、2/8,22、3/8,29 コーヒー光予定。
- ・12/28 忘年会実施。32名参加。会費余剰金24,000円は教会へ献金しました。

9. マリア会

- ・1/25(日)マリア会総会実施。総会参加31名、総会后カレーを食べながら懇親27食。
- ・運営委員会 1/18 実施、2/8 予定。1/22 総会

資料印刷作業。

- ・パーティー係 1/10(土)新年と新成人を祝う会準備、1/11(日)パーティー当日
- ・アンナ会 1/26 活動実施、2/9,3/9,3/23 活動予定
- ・ステラマリス帽子を編む会 1/16,22 活動実施。2/20,2/26,3/26 活動予定。
- ・ポリビア支援グループ のんびり日曜日 1/18 実施、2/1,3/1 予定。1/16 (金) 会議実施、2/12 予定。

10. 青年会

1/18 に定例会を行いました。内容は次のとおり。青年ミサについて、今年は10月末までに対象者に案内を出し、個別に連絡し、待降節頃までに青年のミサの日程を決め、参加者を確認する(対象者が参加しやすい日程に決めます)。3/15 教会学校卒業式に合わせて新青年歓迎会と青年懇親会を行う。また新信徒を復活祭でお祝いする。6/1「わかちあいたいかい」については、復活祭頃までに詳細を決める。

11. インターファミリー

- ・「新しい聖歌集」プロジェクトにメンバー4名が参加しています。
- ・9月難民移住移動者の日にインターファミリーデーの企画を考えています。

12. 一粒会

2/15 に戸部教会で第三地区一粒会の集いを行います。

13. 地区世話人会

1/25 に地区世話人会の刷新プロジェクトチームを開催し、改善案のブレインストーミング、地区会の意義、現状確認を行いました。次回2/15の予定です。

以上

2月8日 二十六聖人ろうソク行列 ～参加者の声～

私たち二俣川教会の守護の聖人、日本二十六聖人殉教者の記念日である2月5日に一番近い主日(2月8日)に、今年もろうソク行列が行われました。雪の降る寒い日曜日でしたが、かえって殉教者たちの長崎への道を、深く思い起こしながら行列できたとの感想をいただきました。

†聖パウロ三木 初参加です。とっても貴重な体験ありがとうございます。これから洗礼に向けてたくさん学んでいこうと思います。ありがとうございました。

†聖ヨハネ五島 初めてのことでしたが、良い思い出になりました。雪でも行ったかがありました。ありがとうございました。

†聖パウロ茨木 本日、ろうソク行列に参加しました。いろいろと準備していただき、ありがとうございました。お疲れさまでした。滞りなく終了できたこと、感謝します。私の担当した聖人は聖パウロ茨木です。ろうソクを持って行列すること、名前をつけて参加することは、二十六聖人がどのような思いを胸に道のりを歩いたのか、を考えることに繋がりました。信仰の火を持ち続け、神さまに向かって歩いて行けますように。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

†聖トマス小崎 ぼくもおかあさんにてがみをかこうとしました。

†聖ボナベンツラ 十字架の道をおそれずに旅立ちした二十六の聖徒たちみたく前進し、教理の勉強に私も励み宣教に尽力したいとおもった。

†聖ヨハネ絹屋 雪の日の行列となり、26名の聖人の凜とした姿を思い祈り行列いたしました。

†聖ペトロ助三郎 雪が降り、良い記念になりました。

†聖ミカエルのフランシスコ 改めて二十六聖人のたどった厳しい道のりを思い出して、自分の信仰について改めて思い直し、彼らに倣おうという気持ちになりました。

†聖レオ鳥丸 よかったです。

†聖ヨアキム榊原 心がクリアになりました。400年時間をさかのぼり、二十六聖人を感じられるよい機会かと思います。



†**聖ガブリエル** 当日は教会への雪の降る坂道を歩くことに。当時、真冬の峠を防寒装備も無いなか、しかも嘲りを受けながら歩んだ聖人たちは身体は凍るほどだったろうと寒さを少し体感できました。でも、26本灯されたロウソクの炎を見て、彼らの心は信仰に熱く燃えていたことを感じました。また、今日のみことばは「あなたがたは世の光である」(マタイ5・14)「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい」(マタイ5・16)でしたので、日本二十六聖人の方々は、それを立派に証ししたのだなと心に響きました。信仰という灯された光のバトンを受け継いだような体験でした。ありがとうございました。

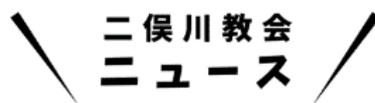
†**聖ミカエル小崎** 雪降る中、心が清められた気がします。

†**聖フランシスコ(聖フランシスコ医師)** 最初行列への参加をためらっていましたが、良い体験ができて良かったです。委員会の方たちの準備、説明ご指導、感謝しています。医師のフランシスコは西坂への辛い道のりの中、二十六聖人たちの健康状態を気遣っていたのでしょと、思いをはせております。

†**聖ゴンザレス・ガルシア** 白い雪の降る中、日常のドタバタから一瞬はなれて行列に加わることができました。遠い異国の地日本で殉教された聖ゴンザレス・ガルシア師が私の小さな信仰に火を灯してくれたようなあたたかく静かな気持ちでミサに与ることができました。老若男女、子どもから様々な国籍の方々と共にするこの行列を、まだ経験したことのない信徒の皆さんにも味わっていただきたいです。来年は初めての方がたくさん行列に参加されますよう願っています。

†**聖ペトロ・バプチスタ** 今年の日本二十六聖人の行列には、洗礼を志願されている求道者の方々とともに参加する恵みをいただきました。聖ペトロ・バプチスタの名を胸に歩みながら、殉教者の揺るがぬ信仰に思いを重ねると同時に、新しい信仰の歩みが始まろうとしていることへの静かな喜びを感じました。信仰はこのように受け継がれていくのだと心に刻み、これからも祈りのうちに共に歩んでまいりたいと思います。

†**聖コスメ竹屋** いつもは見るだけの行列に初めて参加しました。入場前に他の参加者と自分の担当する聖人についてお喋りをして、改めて二十六聖人を知る良いきっかけになりました。二十六聖人をより身近に感じるととてもいい体験をしたので、皆さんにも是非お勧めしたいです。



●2月18日(水)の灰の水曜日から、四旬節がスタートしました。今年の聖週間は以下の通り。

【聖週間】†3月29日(日) 受難の主日(枝の主日)

†4月2日(木) 聖木曜日(主の晩餐) ミサ 19:00～(洗足式)

†4月3日(金) 聖金曜日(主の受難) 十字架の道行 14:00～、祭儀 19:00～

†4月4日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭) ミサ 19:00～(洗礼式)

†4月5日(日) 復活の主日(日中ミサ) ミサ後パーティー

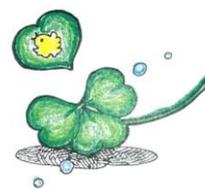
●3月22日(日)、昨年3月に司祭叙階されたルカ枇杷晃平神父様の初ミサが行われます。

ミサ後には茶話会を予定しています。みなでお迎えし、感謝のミサを捧げましょう！

四旬節黙想会

講師：シスター永本紀美子

『きみは愛されるために生まれた』



2月21日(土)四旬節黙想会とゆるしの秘跡が行われました。講話は、マリアの娘エスコラピアス修道女会のシスター永本紀美子による、『君は愛されるために生まれた』をテーマにしたお話でした。ご自身の体験、幼稚園でのエピソードを交え、聖書も旅して、笑いあり涙あり!?の講話に、2026年の四旬節を歩むヒントをたくさんいただきました。いくつかのキーワードをピックアップしてご紹介します。

黙想会に参加できなかった皆様も、ぜひ、右のQRコードをスマートフォンのカメラで読み込み、YouTubeで黙想会をお聴きください。



✿ 修道会の使命と、修道生活のこと

導入として手島葵さんの歌う『家族の風景』を聴かせていただきました。マリアの娘エスコラピアス修道女会のシスター永本紀美子。修道会の使命は、子どもたちに学問を教えると同時に神の愛を教えること。修道会は教会を飾る存在、花畑のような存在だと言われている。なぜかという、3つの誓願をもって、皆さんがこれから行く先の世界をこの世界で生き、証しする存在だから。天国では結婚せず子どもも産まない、それを先取りして生きることが修道生活。

✿ 修道者への道と識別、シスターの名前

シスターは特別な生き方なので、シスターになるまでに様々な段階がある。自分が本当に独身・共同体生活・全てを神に捧げる生活を一生続けられるかの見極め、識別する期間。終生誓願前の黙想の時に、イエズス会の神父からいただいた自分の名前の解釈：「永＝永遠」「本＝本物」「紀＝時」「美＝美しい」。つまり…「永遠の神の愛の本流の中で、その時を美しく生きる人」。初誓願の時に受けた言葉：あなたの明るさや人を喜ばせる力は神様からいただいた賜物。ピエロがその内に寂しさ辛さを秘めながらも周りを微笑ませる存在であるように、あなたもイエスのピエロになりなさい。苦しくても笑顔でいる中で誤解され叱られることも。出来事の捉え方は、心の在り処で変わる。

✿ 四旬節の幼少期体験から

誕生日は10月25日、受洗は11月1日、諸聖人の祝日。父の事業が詐欺被害、教会の助けでなんとか立て直し。姉の病い、姉の我慢を思って自分も我慢する幼少期。永本家の四旬節の厳格な習慣…四旬節はおやつ・テレビ・歌も禁止。復活祭で「グロリア」を歌うと共に我慢解禁の喜び。修道生活で悟ったことは、四旬節はただ我慢の時でも、自己否定の時でもなく、神の愛を特別に深める40日。心の向き(回心)次第で出来事の意味は変わる。

✿ イスラエルの歴史と荒れ野の試練、40日、四旬節の意味

出エジプト記。約束の地の準備に荒れ野を彷徨う40年。イエスの洗礼と荒れ野での40日。荒れ野とは何か。すべての刺激やすべての自己から解き放たれ、神と自分だけになる空間、それが荒れ野。ご降誕の時、博士たちを導いた星。途中、見えなくなったのは人間的な栄光や権力によって曇ってしまったから。私たちも、神様が見えなくなる時がある。荒れ野に出ましょう。この四旬節、日曜を除く40日。それは、神様との関わりを深める時。神様は自分をどう思っているのか。神様の目にはどう映っているのか。荒れ野に出て、もう一度見つめる時。それが四旬節。

✿ 洗足のこと、最後の晚餐と「食べ物になる」謙遜

枝を振ってイエス様を迎えた者たちの裏切りがせまる中、当時の汚れた足に低く仕えるイエス様を想像してみる。どんな想いで洗われたか。謙遜と奉仕のしるし。ペトロもユダも洗った。同じ愛が全員に注がれた。『イエスは食べ物になってこの地上に残ることを選ばれた。これほどの謙遜、小ささ。これほどの愛。本当に味わいましょう。小さなホスチアは、皆のところに勝手には行きません。皆が自由な心でここに集い、ミサに与る時にしか皆さんの中に入れない。それほど皆の愛に賭けてくださった。忘れないで。私はあなたたちの中に入り、留まり、支えるから。それが聖体です。』ペトロの三度の否認の時、イエスとペトロは目が合った。それは、赦しの眼差し。ペトロとユダの違いは、イエス様の赦しを信じられたか信じられなかったかの違い。ペトロは回心へ、ユダは絶望へ。

✿ 回心、心の矢印

実を食べ、自分で自分を裁くようになってしまったアダムとイブからの話から続いて…。回心。悪い事をやめていい事をする。これも回心。1番大切な回心は、自分の中にある神様の愛に気づくこと。自分がどれほど神様に愛されている存在かということに気づき、もう一度信じる。これが回心。自己中心的は人の矢印は、グルグルと回って真ん中の小さな点となる。どんなに良い事をして、自分の価値観でしか見る事ができない。周りを責めてしまう。でも、神様の愛に向かうと矢印は外向き。神様を見ているから、どこまでも広がり、どこまでも許せるようになる。なぜなら、私たちがまず、神様に許されているから。そのままいい。弱さもすべて知っている。自分で自分を裁くことから、戻る。神様に愛されている、その場所へ戻ること。それが回心。

✿ 四旬節教皇メッセージと傾聴・断食の本質

『耳を傾け、断食する―一回心の季節としての四旬節』回心は、我慢や悪いことをやめるということだけでなく、自分で自分を裁く事をやめ「神の愛」に心を向ける転換のこと。断食とは、単に食制限ではなく「自分が何に飢えているか」の識別。自分の執着を断つ「罪の断食」。「心のパスワード」を考える。悪魔は個々の弱点の引き金、きっかけを突いてくる。感情が湧いた瞬間に立ち止まり、理由を見つめパスワードを変更する。

✿ 四葉のクローバー

高校卒業と同時に修道会に入会し、10日間のイグナチオの黙想で「ここに居続けるか」のしるしを祈り、道端で四つ葉のクローバーを見つけた。偶然と片付けられることもあるが、信仰の目で神のしるしとして受け取ることもできる。三つ葉のクローバーは三位一体の比喻ともされる。皆、四つ葉クローバーになって、神様の愛にどっぷり浸って生きてください。私は4枚目の葉っぱ、愛を受け止める存在としての人間として。

✿ 微笑みの価値

ファーベルの詩より。微笑みは無償で人を豊かにし、家庭に平和、仕事の支え、友情のしるし、疲れた人に休息、失望に勇気、悲しみに癒しを与える「宝物」。期待した微笑みが得られない時は、自分から微笑みを。

✿ 赦しの秘跡のこと

赦しの秘跡の意味。事実を自ら認めることで心が自由になる。周囲が許していても、本人が真実を語り告白し赦しを受けて、初めて心が解放される。

❀ 四旬節の過ごし方と復活の喜びへの準備、賛美歌のメッセージ

ゆるしの秘跡は、皆の心を自由にして、他の人をもっと自由に愛せるようにと準備されている大きな宝。四旬節は、神の愛を充分に感じて、赦しを貰い、喜んで永遠の命を現す復活に向かって生きる準備をする期間。そのように四旬節を過ごすことができますように。

最後にシスターが賛美歌「君は愛されるために生まれた」を歌ってくださり、講話は締め括られました。

『きみは愛されるため生まれた』 イ・ミンソフ牧師
きみは愛されるため生まれた きみの生涯は愛で満ちている
きみは愛されるため生まれた きみの生涯は愛で満ちている
永遠の神の愛はわれらの出会いの中で実を結ぶ
きみの存在がわたしにはどれほど大きな喜びでしょう
きみは愛されるため生まれた 今もその愛、受けている
きみは愛されるため生まれた 今もその愛、受けている
きみは愛されるため生まれた きみの生涯は愛で満ちている
きみは愛されるため生まれた きみの生涯は愛で満ちている



聖歌隊より “2026年3月”

主日ミサの拝領の時に、聖歌隊が歌う歌の訳語と簡単な解説です。

- ☆3月1日に歌うのは、「我が神よ」です。典礼聖歌風の作りで詩篇を合唱で歌います。少し古風な和音の進行を楽しんでください。
- ☆3月8日は、「In monte Oliveti」です。聖木曜日の夜、主がオリヴェト山で、祈った様を歌っています。「主はオリヴェト山で祈られた、できましたらこの盃を取り除いて下さい。しかし、あなたの思し召しの通りに。」作曲者のマルティーニは1784年に没した、ポローニャの司祭です。幼少のモーツァルトが教えを受けた人でした。
- ☆3月15日に歌う「Vere langouresu」は16世紀の神秘性を秘めた作曲家イエズス会司祭「ヴィクトリア」の作になる歌です。邦語訳は「真に弱き私たちを守り、苦しみを負って下さった。あなたの傷により私たちは癒された。甘美な木、甘美な釘、甘美な重荷を負った。あなたは、天の王、主であるものを支えた。」私達にはなかなか思い至らない、素晴らしい表現ですね。でも、子供ミサの時に歌う歌としては少し重すぎるかもしれませんね。
- ☆3月22日に歌う「Vexilla Regis」は同じヴィクトリアの作曲の「枝の主日」の前の日曜日に歌われる十字架の讃歌です。グレゴリオ聖歌の讃歌を挟んで歌われる合唱は美しく、物言いたげな響きがあります。邦語訳は「王のみ旗は翻り、十字架の神秘は輝く、死を持って生を賜えり。私達を清めるために、槍の鋭き切先で傷つけられ、水と血は流れた。幸いな木よその横木に、贖いは掛かり賜う。おお、十字架、唯一の希望、信仰深き者に恵みを、罪人に許しを。御身救いの泉、全ての霊は聖三位を歌い、十字架の勝利を与え、救いを与え賜え。
- ☆3月29日は「枝の主日」です。その日に歌うのは「Christus factus」です。1594年に世を去った「ラッソ」の作と伝えられています。「キリストは人間の姿で現れ、十字架の死に至るまで従順になられた。それゆえ神は全ての名に勝る名を与えられた。」「ヴィクトリア」も「ラッソ」の響きも真の教会の響きです。味わっていただければ幸いです。

【3月の予定】

- 3月1日 初聖体クラス 教会学校
- 3月8日 初聖体クラス 侍者会
- 3月15日 初聖体クラス 教会学校(卒業式・修了式)



【2月のクラスの様子】



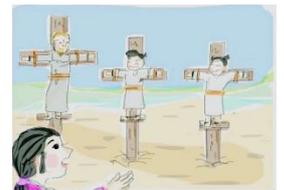
幼児クラスは、アニーリーダーと英語の手遊び歌をしたり、絵あわせカードゲームをして遊びました。
今月の絵本は「えりまきの花」と「イエスさまのて」おともだちを思うやさしさやイエスさまのあたたかさを知りました。



初聖体クラスは、「神様ってどんな方？」でみんなで創世記を読み、「イエスさまってどんな方？」では、イエスさまのご誕生から12人の弟子に会うまでを「神さまとイエスさまの愛」では、よいサマリア人のお話を勉強しました。



小学生クラスは、二俣川教会の守護聖人である日本二十六聖人の一人、12歳だったルドビコ茨木についての動画を観ました。また、四旬節について学び、ゆるしの秘跡の準備をしました。



【2/8 日本二十六聖人 ろうそく行列にきょうかいがっこうのお友だちも参加しました！】
横浜にも雪が降っていたこの日、二俣川教会の守護の聖人である日本二十六聖人のお祝い日を記念して、ろうそく行列が行われました。今から400年以上前に、京都から長崎まで雪の降る寒い中、はだしで歩いて行った二十六聖人はどんなに寒くつらい道のりだったのでしょうか。きょうかいがっこうのお友だちもパパやママと一緒に参加しました。



ミサのあとは
雪あそび



総会が終わりホッとした日々が流れています。今年の総会出席者は26名でした。ご出席いただきました皆様、ご苦勞様でした。

昨年後半からK. R. 会長が、教会でのご奉仕が難しくなり、Kさんの任期の後半をF. N. さんが会長代行として会を支えることとなりました。今年も、より元気なマリア会活動を展開するためにどうぞご協力をよろしくお願いいたします。

カレーの日、映画鑑賞などいつものイベントを行っています。楽しみにして下さい。パーティー係は、3月にはイースターパーティーのために始動いたします。内部の団体もポリビア支援グループは、のんびり日曜日とポリビア日を、アンナ会は、イースターやクリスマスの手芸品づくりを、ステラマリス帽子を編む会は、11月の締め切りに向かって毛糸の帽子を編み始めています。



パーティー係も、どの会も一緒に活動して下さる方を求めています。お気軽にご参加いただき楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。総会後のカレーの日も賑やかでした。和気あいあいのおしゃべりの会となりました。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

マリア会 K. M.

★今月の表紙★

今月の表紙は、横浜教区の司教座である、山手教会の聖堂にある聖ヨゼフ像です。中央の祭壇に向かって右手にある小祭壇ですが、真ん中には聖ヨゼフ像があり、右に二十六殉教者のひとり聖パウロ三木、左に聖アロイジオが描かれています。聖ヨゼフの像は伝統的に百合を持って描かれたり、作られたりしています。それは、聖ヨゼフの特別な信仰と自己献身を表していますが、マリアの童貞性を守るため、自分も貞潔を守った故だと言えます。カトリック聖歌集393の【み神はみずからの】の一節にも「いと清きヨゼフはかみのみ母なるマリアの浄配と挙げられ給いたり」とあります。聖像や聖画を、意味を知って観るとまた味わい深いと感じます。



【編集後記】

春の訪れを感じる3月はほとんど、四旬節の間にある月ですが、ご復活を待っている私たちにとってはイエス様の新しい命に向かう希望の月でもあります。前庭にあり、昔から慕われてきた枝垂桜のひこばえが、支柱が必要なほど育ってきてくれたというニュースがもたらされました！以前、仕方なく伐採され皆さんがっかりしたことが思い出されます。でも、神様は新しい季節に、いのちの贈り物をくださったように思います。若いひこばえの姿にも勇気をいただいて、新たな心とご復活に向う希望を胸に、皆様で一緒に歩んでまいりましょう。(K. A. 記)